

北海道標茶高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において平成30年度に重点化した取組の実現状況・課題			
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	農業クラブ事業の工夫改善を行い校内事業を充実させ、クラブ員満足度80%以上を達成する	・校内行事の工夫を実施した。収穫感謝祭や実績発表大会で新たな取り組みを実施できた。	・クラブ員の活動をより計画的に取り組み三大事業への充実度や達成感を高める。	4
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	国際交流、交換留学活動の推進と共に国際意識を育み視野を広くした教育を展開する	・留学活動を実施することができた。また、釧路港にて、外国人観光客へ地域の説明をするなどの交流活動を開示することができた。	・国際交流をはじめ国際意識を全校生徒へ高める工夫が必要である。	4
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	食の6次産業化プロデューサー認証を推進し、農業理解者を育てる 品質管理の徹底、施設や設備の定期点検を行い食品加工品の維持管理に努める	・現在5名の生徒がレベル2認定に向けて申請中である。 ・重要管理点の見直しと記録管理を実施している。	・関連科目を横断的に取り組み、6次産業化を推進させる。 ・AFSに基づき更に安全安心な衛生環境を整えること、HACCPの取得に向けて取り組む。	5 4
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	地域の環境に配慮した農業教育の推進を図り、地域が取り組む環境文化遺産の継承に努める 就業体験の取組を推進し、地域貢献できる人材を育てる	・校地を有効活用した教育活動に取り組むことができた。 ・地元商工会など関係機関との連携が図れた。	・地域産業人との交流活動や外部講師の導入を実施する。 ・地元産業人育成に取り組む。	5 4
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	地域産業と自然環境の調和を追求し、循環型農業の推進を図る	・ほ場へ家畜糞尿を有効活用した活動ができた。	・牧草地や野菜畑などに還元し今後も取り組む。	5
	⑥「食農」教育を推進します。	地域の異校種交流実施を行う。また、ボランティア活動などへの意識高揚を図る	・地元小学校との食育活動をはじめ意欲的に活動することができている。	・活動範囲を広げる教務的な配慮が必要である。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	地域と連携して地域資源を活用した商品開発に取り組む	・ミニ湿原やエゾシカ皮革製品などの活動に取り組むことができた。	・更なる教育効果を目指し、組織体系を確立する。	4
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	生徒が主体的に活動できる環境を整え、地域交流の取組を推進する	・地域環境系列事業をはじめ系列の取り組みから実施することができた。	・年次により参加率に差があったことが課題である。	4
地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	地域連携事業の展開を行い農場を活用した連携教育を展開する	・学校開放農場には38名の参加があり交流学习を実践した。	・計画的で活発な交流活動を実施することが困難であった。	3
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	食に関する安全・安心に係わる技能と意識向上を図る	・食品科目で実施することができた。	・外部講師を招くなど更なる充実を図る必要がる。	4